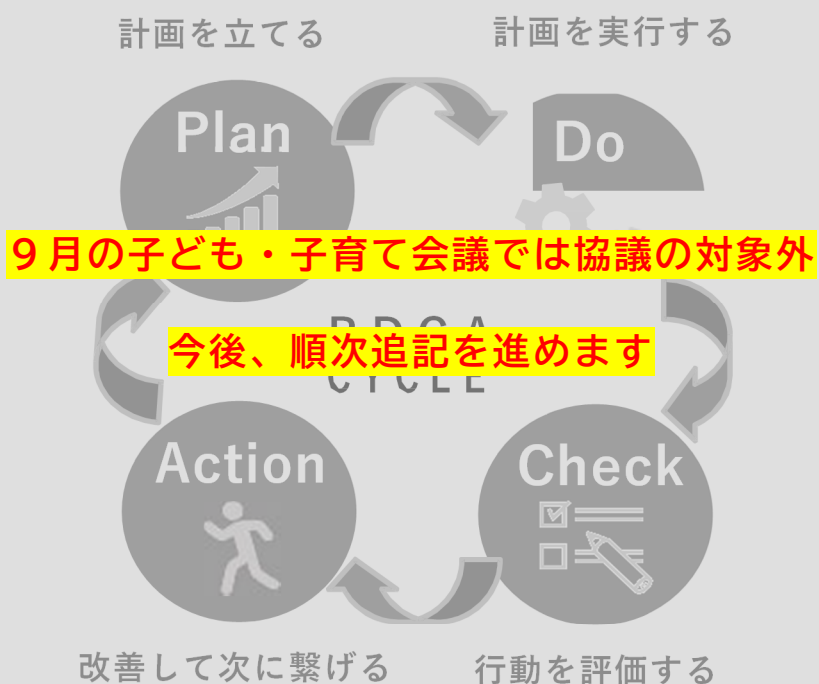


第6章 計画の推進に向けて

1 計画の進行管理

本計画の実効性を確保するために、PDCAサイクル（Plan-Do-Check-Action cycle）により、施策の実施状況・進捗状況の点検・評価を実施し、その結果を次年度に向けた取り組みの見直しや計画に反映させ、継続的に改善を図っていく仕組みとします。

また『大磯町子ども・子育て会議』において、町が行う計画の進行・管理について、意見・提案をいただきます。



【本計画における指標値の取扱い】

本計画では、事業の進捗度合いを定量的に示せるよう、重点事業において指標値を設定しています。

これらの指標値は当該施策に関する代表的なものを位置づけていますが、あくまで当該施策の状況を示す一つの要素であり、指標値の達成だけが各施策の目標となるものではありません。

また、各種指標の現状値及び目標値は策定時点のものであり、事業の進捗や社会経済情勢の変化に合わせて、実施計画にて適宜見直しを図るものとします

その他、位置づけるべき事項等は追記します

3 こどもの声、反映状況

本町の小学校・中学校・高等学校に通うこどもたちに直接ヒアリングを行い、こども達の生の声を計画に反映させ、ニーズに合った計画をめざしていきます。

ヒアリング実施

実施方法 大磯町子育て支援課及び政策課職員が学校の昼休み及び放課後等に学校に伺い、直接、児童・生徒に『機会（楽しいこと）』、『施設（商業施設含む）』、『学校（設備含む）』、『居場所』、『勉強・進路・支援など』、『町のイメージ』、『子育て』について、「あったら良い施設や制度」、「困っていること」等聞き取りを行った

実施期間 令和6年6月24日（月）～7月18日（木）

実施人数・意見件数

	小学生	人数	中学生	人数	高校生	人数
学校名	大磯小学校	67人	大磯中学校	306人	大磯高校	29人
	国府	9月の子ども・子育て会議では協議の対象外				南高校 9人
小計		118人		375人		38人
(意見数)	学校ヒア、職員出向いてヒア、こどもサミットなど					131件
合計	令和5年度のニーズ調査を含む様々な声のまとめ					

主な意見

計画内への反映状況を記載

- ＜小中学生＞ エアコンの設置など学校生活系をはじめ、大磯地区では商業施設の誘致（みんなが集、**今後、順次追記を進めます**）運動公園の充実（体が動かせる場所）などの傾向が見られる
- ＜高校生＞ 体育館や道路の整備（雨でも体が動かせる場所や通学路の安全安心）をはじめ、駅周辺の賑わい（帰りに集まれる場）や勉強の場など、居場所に関する意見が見られる

基本方針別、主な意見

基本目標 1 若者・こどもの心と体の成長を育む切れ目のない仕組みづくり

1 世代間交流の充実

- ・国府小と大磯小でもっと交流ができるようにして欲しい（小）

2 スポーツ活動の推進

- ・町民体育館が欲しい（中）
- ・体を動かせるジム、フリースペース（高）

3 文化・芸術活動の推進

- ・身近に大磯出身者の美術館があつたらいい（小）

4 子どもの健全育成

- ・みんなで料理を作って、みんなで食べられる施設が欲しい（小）

5 子どもの心と体の健康づくり

- ・暑いので、日陰のある公園を増やして欲しい（小）
- ・運動公園に軽食など食事ができる施設があるといい（中）

6 食育の推進

- ・学校で給食を作ってくれることが嬉しい（小）
- ・大磯産の食べ物で給食を作って欲しい（小）
- ・給食を導入してほしい（中）

7 医療体制の充実

基本目標 2 心配りが必要な若者・こどもへの切れ目のない支援体制づくり

1 配慮が必要な子どもへの支援

2 児童虐待防止体制の充実

3 いじめや不登校への対応

- ・友達関係で悩んでいる、相談できる場所がわからない（小）

4 子どもの貧困への対策

5 ヤングケアラーへの対策（新）

6 ひきこもり等 **9月の子ども・子育て会議では協議の対象外**

基本目標 3 **学校ヒア、職員出向いてヒア、こどもサミットなど**

1 経済的な **令和5年度のニーズ調査を含む様々な声のまとめ**

- ・助成金や子どもが遊べる施設が多いと支援が充実していると感じる（高）

2 家庭教育への支援

計画内への反映状況を記載

- ・保護者側の問題で子育てがしづらいことが多い（高）

3 子育て相談体制の充実

今後、順次追記を進めます

4 子育て支援の充実

- ・子どもを増やすには、大人向けの施策から始めないといけない（高）
- ・親子で過ごせる、家族で触れ合える施設があるといいと思う（高）

5 子育て情報の発信

6 子育て世代の社会参加への支援

- ・子育てしているとお母さん一人のこともある→周りとのつながりが持てる施設があるといい（高）

7 ワークライフバランスの実現

基本目標 4 子育ての質を高める保育環境づくり

1 妊娠、出産から子育てまで切れ目ない支援

2 多様な保育サービスの提供

- ・仕事をして子育てもだと大変で、保育園だけだとカバーできない→休日に子どもを預けられるような場所や施設があると忙しいと、子どもと一緒に過ごしたいのに過ごせない（高）
- ・月1回親が楽できる日を作るような施策、預けられる施設

3 教育・保育環境の整備

- ・学校の電気がついていないことが多く暗い(中)
- ・女子トイレの洋式が渋滞する、逆流する、壁が黄色く暗い、汚い(中)
- ・体育館や教室でエアコンがついていないので暑い(中)
- ・学校の冷水器が渋滞するので複数台欲しい(中)
- ・進路のことで情報が少ない(中)

4 子どもの居場所づくり

- ・子どもが集まれる(駄菓子屋、母親が集って話せる場所があるといい(高))
- ・子ども食堂など集まれる場所があるといい(高)
- ・中学生も行きやすい地域交流施設が欲しい(中)
- ・集中して勉強ができる場所が欲しい(中)
- ・友だちと集える場がほしい(安価長居できる)(中)
- ・学生が集まったり、遊べるところが欲しい。(テラスモール)(高)

5 質の高い学校教育・保育、地域子育て支援

- ・学校のタブレット端末を活用しているとき、楽しい(小)
- ・お仕事体験ができる施設が欲しい(小)
- ・もっと勉強 **9月の子ども・子育て会議では協議の対象外**

6 小学校教育への円滑な移行

7 放課後 **学校ヒア、職員出向いてヒア、こどもサミットなど**

- ・放課後 **令和5年度のニーズ調査を含む様々な声のまとめ**

基本目標 5 若者・こども **計画内への反映状況を記載** ネットワークづくり

1 こども・若者の社会参加・意見反映

2 こども・若者の生活基盤 **今後、順次追記を進めます**

3 地域との関わり(新)

- ・自宅から近くで行けるお祭りを増やしてほしい(中)
- ・いつも信号機で見守りをしているおじちゃんにお礼を言いたい(中)
- ・大磯町のよいところは、笑顔で挨拶が返ってくところがよい(高)
- ・町の中で繋がりを持てるような事業があれば、参加したい(高)
- ・「こんなことやっているよ!」と町が情報発信してくれると良い(高)

【その他】

子育て世代への理解

- ・赤ちゃんや幼児を連れている人が、周囲の目を気にせず→安心して移動できることが大事(タクシー補助やシャトルバス)(高)
- ・弟を見ているときには騒がれても怒られない場所に連れ出す→連れ出す場所はゲームセンターとかになってしまう(小田原市の図書館では、一緒に居れる場所、保育スペースがある)

子どもの安全安心

- ・災害時に防災頭巾だと不安だからヘルメットが欲しい（小）
- ・城山公園近くの線路沿いが、照明がなくて暗くて怖い（高）
- ・山の付近でWi-Fiの状態が悪いところがあるので改善して欲しい（中）

大磯の良さを活かすアイデア

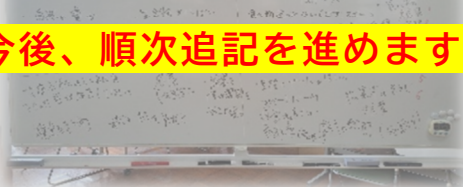
- ・海を活用した施設を増やして、もっと有名になったらいいかな（高）
- ・湘南発祥の地なので海を活かすことがいいのでは（高）
- ・老舗のお店が多いイメージだから、海を活用→大磯コネクトの前を利用してフェス開催、若い人も来る（高）
- ・海関連の施設の充実（海辺にアスレチック、マリンスポーツ）（高）
- ・平塚海岸にあるビーチパーク真似たら（高）
- ・外からくる若い世代にアピールできるように、情報発信を（高）
- ・風情が残っていていい、祭りなどで盛り上がるとよい（高）
- ・ロングビーチまでの道で大磯を感じられる仕組みがあると良い（高）
- ・東海道のブランドを活用、宿場町としての大磯を再整備（高）
- ・歴史探訪のツアーがあったら面白い（高）

大磯町について **9月の子ども・子育て会議では協議の対象外**

- ・今の大磯町で満足、楽しい（中）
- ・みんな **学校ヒア、職員出向いてヒア、こどもサミットなど**
- ・子ども **令和5年度のニーズ調査を含む様々な声のまとめ**

計画内への反映状況を記載

今後、順次追記を進めます



【総括】

『青年期』には出会いやコミュニケーションの場など、様々な場面において、わくわくする「好機」の創出を、『生まれてくるこどもたち』には、世代に応じて非日常の学習体験や行事等での活躍の場など、貴重な経験を得られる「機会」の提供を、『保護者』には安全・安心はもちろん、こどもを預けられる仕組みやこどもの居場所づくりなどを通じて、時短や自分時間が持てる「時」の確保が挙げられています。

さらに、『こども（人）』は行動を起こす一つの動機として、「心」も絡みますので、どのように、心を“くすぐっていく”のか、大磯町として「多世代に寄与でき、継続可能なお金の使い方」の観点も考慮して、サービスや施策を検討していきます。

第7章 資料

1 子ども・子育て会議規則／委員一覧

大磯町子ども・子育て会議規則

平成 25 年 3 月 29 日大磯町規則第 5 号

（趣旨）

第1条 この規則は、大磯町附属機関の設置に関する条例（昭和 30 年大磯町条例第 16 号。以下「条例」という。）第2条の規定により設置された大磯町子ども・子育て会議（以下「子育て会議」という。）について、条例第3条の規定に基づき組織、所掌事項及び委員その他の構成員並びにその運営に関して必要な事項を定めるものとする。

（所掌事項）

第2条 子育て会議は、次に掲げる事項を所掌する。

（1） 子ども・子育て支援法（平成 24 年法律第 65 号）第 77 条第1項各号に規定する事項に関すること。

（2） 前号のほか、町長が必要と認める事項

（委員）

第3条 委員は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱するものとする。

（1） 教育・保育 **9 月の子ども・子育て会議では協議の対象外**

（2） 幼稚園又は保育園の関係者

（3） 保健福祉関係者 **今後、順次追記を進めます**

（4） 公募町民

（5） 前各号のほか、町長が必要と認める者

（任期）

第4条 委員の任期は、2 年とし、再任を妨げない。ただし、任期途中に新たに追加した委員の任期は、他の委員の任期に合わせるものとする。

（会長及び副会長）

第5条 子育て会議に会長及び副会長各 1 人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。

3 会長は、会務を総理し、子育て会議を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第6条 子育て会議の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、その議長となる。

2 会議は、委員の 2 分の 1 以上の者が出席しなければ開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員（議長を除く。）の 2 分の 1 以上をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（意見等の聴取）

第7条 子育て会議は、その所掌事項について必要があると認めるときは、委員以外の者に会

議への出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

（会議の招集の特例）

第8条 委員の任期満了後に開く最初の会議の招集は、第6条第1項の規定にかかわらず、町長が行う。

（庶務）

第9条 子育て会議の庶務は、子育て支援主管課において処理する。

（委任）

第10条 この規則に定めるもののほか、子育て会議の運営に関し必要な事項は、会長が子育て会議に諮って定める。

附 則

（施行期日）

1 この規則は、平成 25 年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則の施行後、最初に開く会議は、第6条第1項の規定にかかわらず、町長が招集する。

9月の子ども・子育て会議では協議の対象外

今後、順次追記を進めます

大磯町子ども・子育て会議 委員名簿

2 計画策定の経過

大磯町子ども・子育て会議における計画策定の経過

[illegible]

3 諮問書／答申書

諮問書

資料3 諮問書

磯子 第 141 号

令和元年8月22日

大磯町子ども・子育て会議

会長 和田 久美子 殿

大磯町長 中 崎 久 雄



「第2期大磯町子ども笑顔かがやきプラン～子育てで選ばれる町！おいそ～」
について（諮問）

9月の子ども・子育て会議では協議の対象外
「第2期大磯町子ども笑顔かがやきプラン～子育てで選ばれる町！おいそ～」の策定について、御審議の上、答申いただきたく諮問します。今後、順次追記を進めます

記

【諮問理由】

平成 26 年度に大磯町子ども・子育て会議において、御審議いただき、「大磯町子ども笑顔かがやきプラン～子育てで選ばれる町！おいそ～」を策定いたしました。

平成 27 年度から現在に至るまで、当計画に基づき様々な事業に着手し、継続的に実施することで安定した事業が提供できたことは、子育て世代の安心につながっております。

一方で女性の社会進出に伴い、就労する母親が増加傾向であることや、幼児教育・保育の無償化の動きなどによる保育・教育ニーズへの影響など、子どもや子育てを取り巻く環境は、社会情勢に合わせて変化を続けております。

このため、次期計画においても継続的かつ計画的な政策展開を図るため、「第2期大磯町子ども笑顔かがやきプラン～子育てで選ばれる町！おいそ～」について、大磯町子ども・子育て会議においても、児童福祉や教育をはじめとした広範な分野での立場からの御意見をいただきたく、諮問いたします。

以上

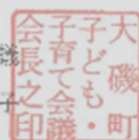
令和2年3月4日

答申書

大磯町長 中崎 久雄 様

大磯町子ども・子育て会議

会長 和田 久美子



「第2期大磯町子ども笑顔かがやきプラン～子育てで選ばれる町！おいそ～」について（答申）

令和元年8月22日付け磯子第141号をもって諮問を受けた「第2期大磯町子ども笑顔かがやきプラン～子育てで選ばれる町！おいそ～」について、次のとおり答申いたします。

9月の子ども・子育て会議では協議の対象外

今後、順次追記を進めます

「第2期大磯町子ども笑顔かがやきプラン～子育てで選ばれる町！おいそ～」について、当会議にて審議した結果、「第1期大磯町子ども笑顔かがやきプラン～子育てで選ばれる町！おいそ～」において実施している事業を評価し、大磯町子ども・子育て支援に関するニーズ調査などの意見を踏まえた、令和2年度から令和6年度までの5年間ににおける子育て支援計画内容として適切であると判断します。

なお、今後の計画推進にあたりましては、次の事項について配慮されることを要望します。

- 1 すべての子どもと子育て家庭が、それぞれの状況に応じた支援を等しく受けられ、子育ての安心感を得られるよう、子育て支援の量と質の確保に努めること。
また、幼児期の教育・保育の量の見込みに対する確保方策として、待機児童の解消に向けた保育定員の拡充策を進めるとともに、公立幼稚園・保育園のあり方についても検討を進めること。
- 2 生まれ育った環境に影響を受けることなく、社会全体で見守り、支えることができる子育て環境の充実に努めること。
また、小児医療費助成制度の拡充については、子育て家庭の経済的な負担軽減を図ること。

以上



令和 7 年 3 月 発行 大磯町

編集 町民福祉部 子育て支援課 制作 株式会社 地域環境計画